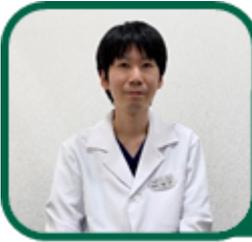


特集 放っておくと怖い!糖尿病について(前編)



担当医
山下 大翔

日本医科歯科大学医学部卒業
糖尿病・内分泌・代謝内科専門

内科外来の山下と申します。今回は糖尿病について紹介させていただきます。

糖尿病は**血液中のブドウ糖(血糖)**が**上がりすぎる病気**だという事はご存知の方も多いかと思えます。

どのように血糖値が上がったり下がったりしているかはご存知でしょうか？

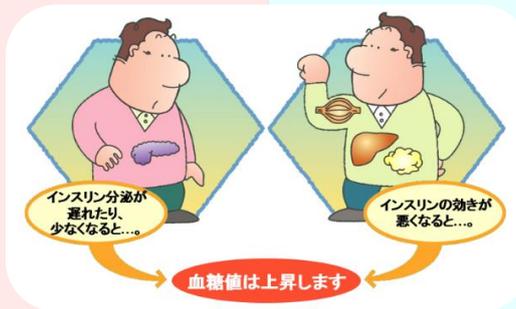
普段食事をする際、食物は栄養素として腸で吸収され、血液の中に運ばれます。これによって血糖値が上昇します。ここで登場するのが膵臓で作られる「**インスリン**」というホルモンです。このホルモンは、血液中のブドウ糖を脂肪や筋肉、肝臓に運ぶ宅配業者のような役割を担っています。インスリンがブドウ糖を運んだ結果として血液中のブドウ糖が減る、つまり血糖値が下がります。

では、どうして糖尿病の方は血糖値が高くなってしまおうのでしょうか。原因は主に下記の2つです。

1 インスリンの量が少なくなる

膵臓で作られるインスリンの量が減少すると、ブドウ糖を運びきれずに血糖値が上昇します。

1型糖尿病という特殊な糖尿病や、膵臓癌など膵臓の病気による糖尿病がこのタイプです。



2 インスリンの効きが悪くなる

内臓脂肪はインスリンの作用を邪魔するタンパク質を作り出します。

内臓脂肪が多くなるとインスリンの効きが悪くなり血糖値が下がりにくくなります。

糖尿病の大部分を占める

「2型糖尿病」がこのタイプです。

糖尿病の症状

- ◆口渇・多飲
- ◆多尿・夜間尿
- ◆食欲亢進
- ◆倦怠感
- ◆体重減少

糖尿病の有名な症状と上記症状があります。ただこれは**かなり血糖値が高くなると起きない症状**で、むしろ多くの糖尿病の方は**無症状**です。しかし無症状でも、適切に血糖コントロールをしないと徐々に臓器にダメージを来していきます。これを「**糖尿病合併症**」といい特に神経・腎臓・眼の機能が低下しやすくなるのですが、一度合併症を起こしてしまうと機能が元に戻る事はあまりありません。これが糖尿病の一番怖いところです。

糖尿病合併症を起こしていないうちに適切に血糖コントロールを行う事が最も大切であり、合併症を起こさないようにする事が糖尿病治療の最大の目標と言えます。

そのためには**早期発見・早期治療が非常に重要**です！！

健康診断で血糖高値を指摘された際には、是非ご相談ください。



内視鏡画像診断支援システム「CADEYE」導入

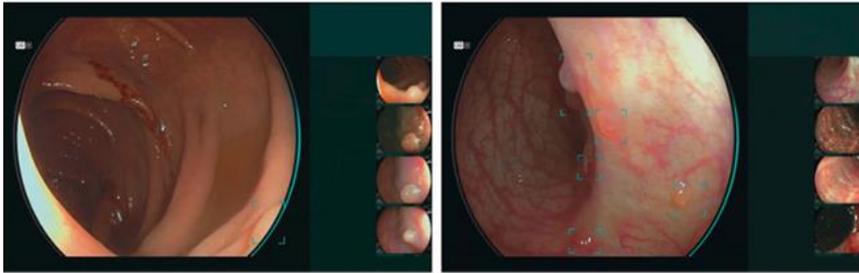


CADEYEとは

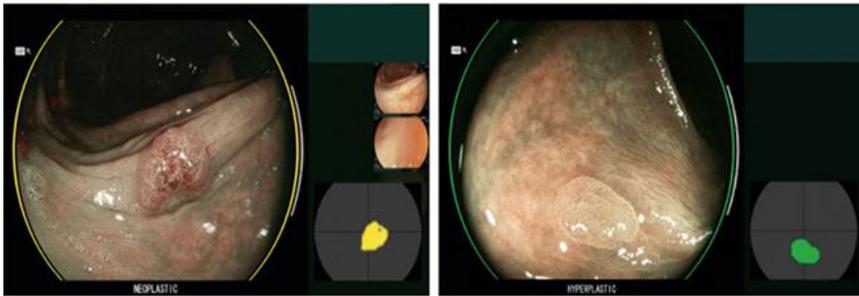
富士フィルム社が膨大な臨床データから深層学習(Deep Learning)を活用して開発した AI 技術を活用し、ポリープなどの病変の検出および鑑別をサポートする内視鏡診断支援機能です。

当院健康診断の検査項目の中で予約が早くから埋まり人気検査の一つが“胃部内視鏡検査”です。健診においては、**病変があるか、ないかを判断する“存在診断”**が重要となります。

■ 検出支援モード ポリープや病変を普段の内視鏡画像の中から拾い上げます。



■ 鑑別支援モード 腫瘍or非腫瘍をリアルタイムで鑑別します。



胃部内視鏡検査は、医師が癌や腫瘍、ポリープなど消化管の病変を注意深く拾い上げていく検査ですが、「人間(医師)の目」を AI 技術を駆使した「コンピューターの目」がサポートしてくれるのが最近開発され、メディアでも注目されている「CADEYE」システムです。当院でも2023年7月より導入し、より精度の高い胃部内視鏡検査が期待されています。

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
内科	9:00-12:00	●	●	●	●	●	●	休
	14:00-16:00	●	●	●	●	●	●	休
婦人科	9:00-11:00	●	●	●	●	●	●	休
	14:00-15:30	●	●	休	●	休	休	休
乳腺科	14:30-16:30	休	休	休	休	●	休	休
心療内科	17:30-21:00	休	●	休	●	休	休	休



住所
東京都渋谷区渋谷 1-9-8
朝日生命宮益坂ビル1階

お問合せ先
03-3498-2111(代表)
03-6686-3858(内科専用)